

MICRO-PEAK/2010 アップデートの概要

2015.3 MICRO-PEAK/2010 Ver2.02 の概要 (Ver. 2.01→Ver. 2.02)

1. 従来は壁体入力数が 50 までで、50 を超えて入力をした場合、書込みはできるが、読む込む時にエラーで読む込みが中止される不具合を修正し、壁体入力数が 100 までとし、100 を超えた場合には、エラーメッセージを表示するように改善した。
2. 室入力支援エクセルプログラムで、10 室以上入力した場合のエラーメッセージを追加した。
3. HASPEE 用のガラスデータ(単版、複層ガラスデータ)を用意し、手で既存データと切り替えられるように改善した。

2014.6 MICRO-PEAK/2010 Ver2.00 の概要 (Ver. 1.50→Ver. 2.00)

MICRO-PEAK/2010 にエクセルによる入力支援ツール機能(室データ入力支援ツール・簡易系統集計ツール)が加わり、入力の簡便化が図られました (Ver.2.00)。さらに、部材データが更新され、Windows 8 対応になりました。

2014.1 MICRO-PEAK/2010 Ver1.50 の概要 (Ver. 1.22→Ver. 1.50)

1. ガラス面積比の大きい温室のような建物を計算すると、ガラス面からの負荷が過大に評価される場合があり、その結果として非空調時の室温が冷房時に大きく、暖房時に小さくなる現象を改善したものです。

2013.2 MICRO-PEAK/2010 Ver1.22 の概要 (Ver. 1.21→Ver. 1.22)

1. 窓の熱貫流熱量の計算において、夜間放射の補正項の式を修正しました。
この修正により、窓の熱貫流熱量の値が以前の計算値より、冷房負荷時は幾分少なめに、暖房負荷時は幾分多めに計算されますが、窓の熱貫流熱量の割合が、他の負荷(壁の貫流熱量、窓日射、内部発熱)に比べ小さいため、負荷全体に及ぼす影響は少ないものと思われれます
2. 接地床・壁の入力場所を隣室温度入力欄から、壁順序入力欄に変更しました。これにより、土中温度の設定が内壁と同じようになりできるようになりました。
3. 人体発熱データを修正しました。この修正により、人体負荷が 15%程度大きくなります。

2012.9 MICRO-PEAK/2010 Ver1.21 の概要 (Ver. 1.20→Ver. 1.21)

1. ファイルの保存や読込をする場合、Mpdata フォルダの直下を指定すると、現在プログラム起動時に用いる input_data フォルダの中のファイルが初期化されるため、データが消去されてしまいます。この現象を防止するため、警告を表示して Mpdata フォルダの直下を指定できなくなるように改良しました。

2012.7 Ver1.20 の概要 (Ver. 1.19→Ver. 1.20)

1. 既存のフォルダに、ファイルを保存する場合、既存フォルダに input_data フォルダと

output_data フォルダが存在しない場合に発生するエラーを、フォルダの有無を判断して無い場合には、フォルダを作成するよう改善し、エラーの発生を解消しました。
なお、以前の Ver1.19 プログラムでも、新たに保存フォルダを作成して、入力データを保存する場合には新しく input_data フォルダと output_data フォルダを作成するため、既存の保存フォルダに上書きする場合も input_data フォルダと output_data フォルダが既に作成されているためエラーは発生しません。

2012.4 Ver1.19 の概要 (Ver. 1.18→Ver. 1.19)

1. 実数入力において、小数点が2か所ある場合にエラーメッセージを出力するように改良。
2. 建物入力、延床面積、地上階数、地下階数、地上高が無入力の場合、及び室入力の地上高が無入力の場合は、0で処理するように改良。
3. 計算時に0で割る等により計算値が不定になった場合、計算が不定となった室指標名とエラーメッセージを出力するように改良。

不定となる原因としては、

- ①室データ入力において、室面積又は天井高のいずれかが0で入力されている場合
 - ②外壁、内壁の入力が全くない場合
- などが挙げられます。

2012.3 Ver1.18 の概要 (Ver. 1.17→Ver. 1.18)

1. ピーク計算の日運転スケジュール及び年間計算期別スケジュール指標の削除において、指標が1つだけの場合に削除出来ない不具合を解消した。

2. 内部発熱の日間スケジュールと週間スケジュール、方位入力、ピーク計算週間スケジュールの削除において、今までは削除ボタンの後に決定ボタンを押さないと削除出来なかったが、削除ボタンだけで削除できるように改良した。

2011.11 Ver1.17 の概要 (Ver. 1.16→Ver. 1.17)

1. 計算結果の CSV ファイルで、室内+外気全熱負荷の単位が欠損するのを修正。
2. 年間計算において収束判定誤差が振動して減少する場合、計算結果の CSV ファイルに項目行だけしか出力しない不具合を解消。

2011.8 Ver1.16 の概要 (Ver. 1.15→Ver. 1.16)

1. 計算結果の印刷で、1度印刷した後にグラフの種類を変更した場合、パソコンとプリンターとの相性により変更前のグラフが印刷されてしまう不具合を、起こり難いように改善しました。

2011.6 Ver1.15 の概要 (Ver. 1.14→Ver. 1.15)

1. 内部発熱入力画面において、24時間発熱入力時(0:00 100% 24:00)にグラフを描画しない不具合を解消した。(Ver. 1.15)

2011.4 Ver1.14 の概要 (Ver. 1.13→Ver. 1.14)

1. 上書きで更新していた印刷出力するグラフを、1度消去してから新規に書直す方式に変換した。(Ver 1.14)

2011.4 Ver1.13 の概要 (Ver. 1.12→Ver. 1.13)

1. データの保存が、入力データと計算結果の両方がある場合にしか保存出来なかったものを、入力途中でも保存出来るよう修正。(Ver 1.13)

2011.4 Ver1.12 の概要 (Ver. 1.11→Ver. 1.12)

1. 壁体のデータグループで、2種類以上登録した場合における「開く」動作の不具合を修正。(Ver 1.12)

2011.3 Ver1.11 の概要 (Ver. 1.00→Ver. 1.11)

1. 室入力警告メッセージの拡充
 - ・室基本データの未入力時に警告メッセージを表示するように修正。
2. 1部気象データでの年間計算における計算停止の改善
 - ・1部気象データにおいて計算がストップする事象を改善した。
3. 建物入力警告メッセージの拡充
 - ・建物基本データの未入力時に警告メッセージを表示するように修正。
4. 室相互放射における室外に逃げる熱量を考慮できるように改良
 - ・相互放射によって室内に残る熱量の割合を、ユーザが CSV データファイルを書換えることにより自由に設定できるようにした。(デフォルト値=1.0)
記入する値=1.0-相互放射で逃げる熱量の割合
ペリメータ部分等の計算では、開口部より逃げる放射熱があるので、デフォルト値より小さな値を取る場合がある。